

大杉だより

No. 9 12月13日号

山口市立平川中学校
山口市黒川1231-1
tel. 924-7700
fax. 924-7706
mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp
HP : <https://fa.fureai-cloud.jp/hira-j/>

ホームページには行事予定などのお知らせを載せていますので、ぜひ、ご覧ください。

「扉」の向こうに広がる世界とつながるために

校長 横沼潤一

今から10年くらい前の話です。小学生を対象に、私はある授業を行いました。

「『どこにでも行ける魔法のドア（扉）』があったら、どこに行ってみたいですか？」

小学生の児童は、昭和44年に世の中に登場したネコ型ロボットのポケットから出てくる「ひみつ道具」のことを想像しながら、行きたい場所を次々と発表してくれました。

「では、『どこにでも行ける魔法のドア（扉）』を、ここにいる全員が持ったら、どうでしょう。さらに世界中の人が持ったらどうでしょうか。」

この問いかけに、先ほどまで笑顔いっぱいだった子どもたちの顔が、少し神妙な表情に変わります。「それって、危険で怖いことだよね…。そのドア（扉）は、すでにあります。」

これは、情報モラルの学習をする授業の最初に、小学生に“インターネット”というものがどのようなものなのかをイメージしてもらうために行ったものです。このあと、児童は「パソコンやスマートフォンは、直接人が移動することはできないが、どこにでもつながることができるので、このドアと同じようなもの」ということや、「安全に使うためには鍵（セキュリティ）ときまりや約束（情報モラル）が必要」ということに気がきます。そして、便利なものほどその危険性を意識することが大切であることを学んだのでした。

新型コロナウイルス感染症の流行によって、学校内外の様々な活動が制限されましたが、それを補うように、平成30年度から5カ年計画の予定であった国の「GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想」が2年前倒しで展開されました。日本語にすると「全員がグローバル（国際舞台）とイノベーション（革新的創造）の扉を開ける学校」にしていく構想といったところでしょう。

令和3年度には、学校から生徒全員にタブレット端末が貸与され、現在授業等でその活用が進んでいます。さらに今年の夏休みには、全教室に電子黒板が整備され、どの授業においてもICT機器を通して示される情報の量は以前に比べて増えています。

タブレット端末や電子黒板の画面の先は、『どこにでも行ける魔法のドア（扉）』と同じように、世界とつながっています。世界中から膨大な情報を得られる代わりに、そのドア（扉）を通過して自ら発信した情報はどこまでも拡散し、そのすべてを回収することが不可能となる危険性もあるのです。グローバルとイノベーションの扉を開けることができる人とは、その有用性や危険性をしっかりと考えることができた上で、学ぶ意欲をもって様々な可能性に挑戦しようとする人なのでしょう。

世界中とつながりを持って学ぶことのできる道具を手に入れている私たちは、それらの有用性をどのように享受しながら学びを深めていけばよいのか…。その答えは、学びに向かう一人ひとりが自ら探り、発見していくものなのかもしれません。



平川まつり

11月19日（日）に、平川まつりが開催されました。今年はコロナ前に戻し、1日日程で行われました。このまつりに、本校生徒が「中学生ボランティア」として参加し、会場の準備・片付けや運営の一部を手伝いました。17日（金）には、2年生がもちまき用のもちづくりを、18日（土）には準備を、一生懸命行いました。2日間で約100名の生徒がボランティアとして参加しました。生徒たちの地域に貢献したいという熱い思いが発揮されました。



学校評価アンケートへご協力ください

12月4日付で、学校評価アンケートのお知らせ文書を配布しております。保護者の皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思いますと考えております。ぜひ、アンケートにご協力ください。

アンケートは、下記のアドレス、またはQRコードからご覧いただけます。

<https://forms.gle/S7L9bnRCYjTUUQB6>

なお、回答期限は12月18日（月）としております。

ぜひご協力ください。



アチカフェを開催します

12月19日（火）～21日（木）の14：00～16：00に、図書室にて「アチカフェ」を開催します。1・2年生の保護者懇談会に合わせた開催です。今回も家庭教育アドバイザーの方に来ていただきます。ちょっと立ち寄って、お話してみたいはいかがでしょうか？

